

民間提案型官民連携モデリング事業(R6 ④-A)

(実施主体:八千代エンジニアリング株式会社/地方公共団体:東京都東久留米市)

調査概要

【地域資源を活用した災害時の代替水源確保にむけた事業スキームの導入検討】

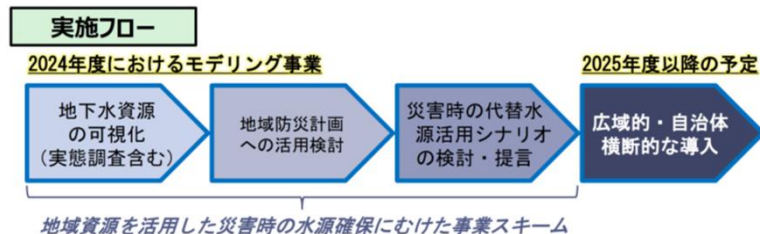
【分野:災害対策・復旧を見据えたインフラ整備・維持管理】【対象施設:地域水資源・周辺公的施設】【事業手法:包括的民間委託】

①調査概要

- 2024年1月に発生した能登半島地震では、水道施設の甚大な被災、断水の長期化が問題となったが、一部では、活用可能な井戸や湧水についての官民からの情報発信や家庭用の井戸水を自主的に活用・提供する動きも広まり、非常時の代替水源として地下水の活用が有用であることが確認された。近年、災害が激甚化・頻発化する中で、災害時における生活用水の確保は、全国の地方公共団体においても共通する喫緊の課題である。
- 本業務では、民間企業が有するノウハウを活用して効率的かつ高精度に地域の水資源実態を把握し、災害時の代替水源活用に向けて、より合理的かつ地域の実態に即した水源活用シナリオの検討・提言のほか、災害時の代替水源確保に対するスキームの導入を検討する。

②実施方針・フロー

- 公開されている標高データや、災害協定が締結された既設井戸・湧水の調査(水源の仕様や水質分析)結果から、地域の水資源量のポテンシャルを評価し、災害時に代替水源を活用する際の課題を整理。
- 地域水資源の実態を踏まえて、生活用水としての地域水源(井戸、湧水)の確保シナリオを検討する。



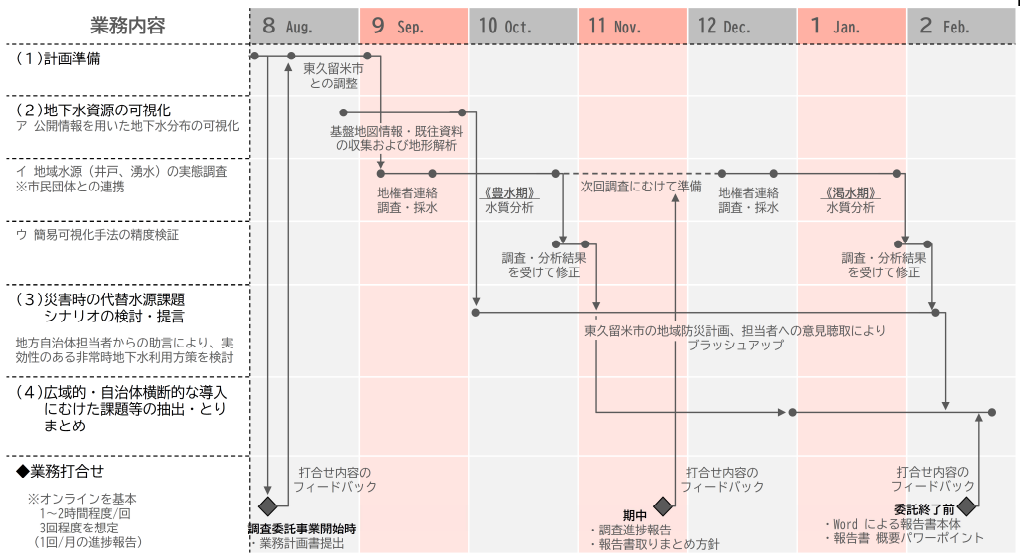
④スキームの概要

【地域水資源の実態把握にむけた民間ノウハウの活用】

- 公開情報を活用して、効率的かつ高精度に地下水分布を可視化し、災害協定が締結された既設井戸・湧水水文調査(2回/年実施)により、地域の水資源の実態を把握する。
- 地域水資源の実態を踏まえて、生活用水としての地域水源(井戸、湧水)の確保シナリオを検討する。

【災害時の代替水源の拡充・運営に向けた民間資金調達策の検討】

- 有識者や関係機関からのヒアリングを踏まえて、代替水源のルールや仕組みづくりにむけた方針を検討する。また、「震災対策井戸」の空白域では、代替水源確保に向けた資金調達策や運営方法を検討する。



③地方公共団体概要

- 本事業導入自治体である東京都東久留米市は、湧き水や清流に恵まれ水量も豊富な水環境を持つ地域である。2022年(令和4年)に地域防災計画が改訂され、災害時の生活用水確保のために所有者から承諾いただいた井戸を「震災対策井戸」として指定し、市内のハザードマップにて井戸の所在を公開されるなど、災害時の地下水利用に対して意欲的に取り組まれている。
- 2024年1月に発生した能登半島地震では、自主的に開放された水源に水を求める被災者が押し寄せるなど、代替水源のルールや仕組みづくりも課題であることが明らかとなり、東久留米市でも同様の課題や、「震災対策井戸」の空白域などが課題となっている。